

“ライバル”だった金井高校に着任して

～笠原新校長先生インタビュー～

県立スポーツセンターに異動された小谷昭彦先生に代わって、4月1日に着任された、笠原昭彦・新校長先生。入学式を終えたばかりの4月8日、校長室にお伺いして、金井高校の印象、校長としての思いなどについてインタビューをさせていただきました。【聞き手：森】



笠原昭彦先生プロフィール

令和7(2025)年4月1日、
金井高等学校第21代校長として、
藤沢清流高校より着任。
保健体育科
専門はバスケットボール

——本日はお忙しい中、同窓会のインタビューに応じていただきありがとうございます。よろしくお願いいたします。

笠原. こちらこそよろしくお願いいたします。

——さて、昨日の始業式に続いて、本日、入学式を終えたばかりですが、金井生の印象はいかがでしょう。

笠原. まだ、生徒が登校し始めて2日目ですが、“素直で素朴”というのが第一印象ですね。始業式でまず新2・3年生と対面したわけですが、始まる前は話し声も聞こえてきましたが、いざ始まるとしつかりした態度で真剣に話を聞いてくれました。場面場面の状況をしっかりと理解して行動ができ、きちんとしている、という印象でした。

——ご着任以前に金井高校のことはご存じでしたか。もし、金井高校に関わるエピソードなどありましたら伺わせてください。

笠原. “金井高校”と聞いて、まず思い浮かぶのは「ライバル校」ということですね。というのは、私は高校時代、バスケットボール部で、その頃のライバル校の中の1校が金井高校だったのです。当時の金井高校バスケットボール部は、私の中学校の同級生や中学校時代公式戦で対戦した選手が多くプレーしており、インターハイにも出場するような強豪校でしたから、私の高校にとっては、まさしく「ライ

バル校」でした。ですから、当時の金井バスケット部顧問の仲手川先生のことにもよく存じ上げています。ちなみに、その当時の私の高校のバスケット部顧問で、恩師でもあったのは、のちに金井高校に異動された阿部哲也先生です。

——阿部先生は金井のバスケット部OBにとって大事な先生のおひとりです。松陽高校時代の阿部先生はどんな顧問でしたか。

笠原. 今でこそ当たり前の指導法ですが、阿部先生は当時から生徒主体の指導をされていて、生徒の思いを尊重して、のびのびと活動させていただいていました。今考えるとずいぶん先進的な指導をされていたのだと思います。

——金井高校とは先生の高校時代から深いかわりがあったわけですね。

笠原. そうですね。単にライバル校というだけでなく、教員になってからも定期的に練習試合や夏休みの合同遠征なども行っていましたから、阿部先生には大変お世話になりました。そういった経緯があったこともあります。教員という立場から見ても、金井高校は、生徒がのびのび、先生方も生き生きとされていて、親近感を持つとともに、こんな高校で働けたら良いな、という憧れのようなものもありましたね。

——そう言っていただけると、卒業生として嬉しく思います。では、これからのことについてお伺いします。まず、校長として金井高校の生徒に望むことをお聞かせください。

笠原. 昨日の始業式や今日の入学式でも話をしたことですが、私が校長として生徒に望むことは、ふたつあります。ひとつは、夢を追いかけてもらいたい、目標を持ち続けて欲しいということですね。夢や目標を持つことは、前に進む力が生まれます。目標は途中で変わることがあってもかまわないですし、常に持ち続けるということが大事です。もうひとつは、人生の壁に突き当たったときやつらいことがあったとき、それを周囲に打ち明ける勇気を持って欲しいということです。一見矛盾しているように聞こえるかもしれませんが、“自分の弱さを人に伝えられる強さ”を持つことです。人に助けを求めることは恥ずかしいことではありません。むしろ周囲の力を借りてでも困難に立ち向かって行って欲しいと思います。

——4月1日をもって創立50周年となり、いよいよ今年度は、記念事業や記念式典を行う年度となりました。記念式典をはじめとする50周年記念事業に臨む校長として、同窓会の皆さんへメッセージをお願いします。

笠原. 50周年というのは、100周年の次に大切な行事だと思っています。次の100周年に向けて、これまでの金井高校の精神をさらに繋げていくために、同窓生の皆様と学校が一体となって、この50周年の事業を成功させたいと考えています。是非、同窓生の皆様がこの節目で、過去の栄光や思い出を振り返り、当時を懐かしみつつ、未来の金井高校を思い描き、現役の金井高校の生徒にも思いを寄せていただければと思います。私は、この50周年という節目に皆様とご一緒できることをとても感謝しています。何卒よろしく願いいたします。

——本日は貴重なお時間をありがとうございました。